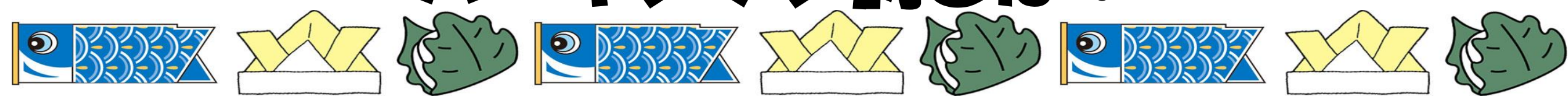


パーキンソン病とは？



脳の特定の領域（中脳黒質）がゆっくりと進行性に変性していく病気です。特徴として、筋肉が安静な状態にあるときに起こるふるえ（安静時振戦）、筋肉の緊張度の高まり（こわばり、筋強剛）、随意運動が遅くなる、バランス維持の困難（姿勢不安定）などがみられます。

【非運動症状】

【運動症状】

便秘



約80%の患者さんにみられる

排尿障害



トイレに近い

ふるえ・安静時振戦



リラックスしている時にふるえが出る

動作緩慢・無動



動き出すまでに時間がかかる、早く歩けない、動作が少なくなる

睡眠障害



夜中に何度も起きる・眠っている間に大声を出したり暴れたりする

起立性低血圧



立ちくらみや失神が起きやすい

筋固縮



筋肉がこわばる、関節を動かすときに歯車のようにカクカクと抵抗感がある

姿勢反射障害



バランスの変化に対応できない、転倒しやすい



病状が進行すると、前傾姿勢・すり足・歩幅が小さいなどの歩行障害が生じてきます。

患者数が増加している 「パーキンソン病」

| せいてつLab | 社会医療法人 製鉄記念八幡病院 (yawata-mhp.or.jp)

次回予告!!

6月号では、自宅でできるパーキンソン病の体操・自主トレーニングについてご紹介したいと思います。